

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 11-161652

(43)Date of publication of application : 18.06.1999

(51)Int.Cl.

G06F 17/30

G06F 17/60

G06F 19/00

(21)Application number : 09-323443

(71)Applicant : NEC CORP

(22)Date of filing : 25.11.1997

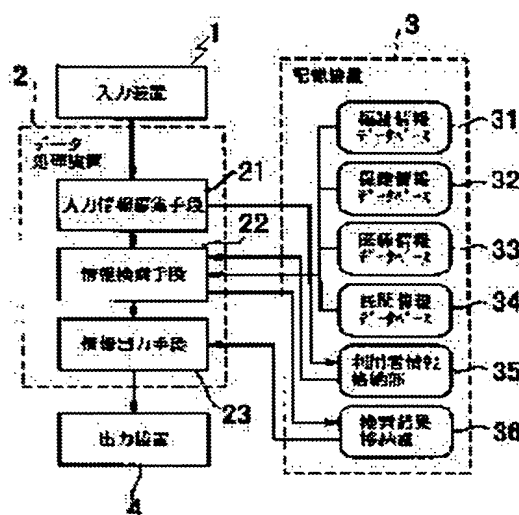
(72)Inventor : TSUCHIYA YOSHIKI

(54) RETRIEVAL SYSTEM FOR WELFARE SERVICE FOR THE HANDICAPPED AND STORAGE MEDIUM IN WHICH DATA BASE AND PROGRAM FOR SAME ARE STORED

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To easily all of services and systems that the handicapped and family, etc., can use by making it possible to retrieve information, which should have been inquired of counters, groups, hospitals, etc., before, at one place.

SOLUTION: Information on services and systems matching user information which is inputted from an input device 1 and stored in a user information storage part 35 is retrieved by an information retrieval means 32 from a welfare information data base 31, an insurance information data base 32, a medical information data base 33, and a private information data base 34 and the contents of the retrieved information on the services and systems are itemized and outputted by an information output means 23.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 25.11.1997

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 18.07.2000

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

BEST AVAILABLE COPY

THIS PAGE BLANK (USPTO)

[Date of extinction of right]

THIS PAGE BLANK (USPTO)

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-161652

(43) 公開日 平成11年(1999) 6月18日

(51) Int.Cl.⁸

識別記号

F I

G 0 6 F 17/30
17/60
19/00

G 0 6 F 15/40 3 7 0 Z
15/21 Z
15/403 3 8 0 Z
15/42 Z

審査請求 有 請求項の数 7 O L (全 13 頁)

(21) 出願番号 特願平9-323443

(22) 出願日 平成9年(1997)11月25日

(71) 出願人 000004237

日本電気株式会社

東京都港区芝五丁目7番1号

(72) 発明者 土屋 良樹

東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株式会社内

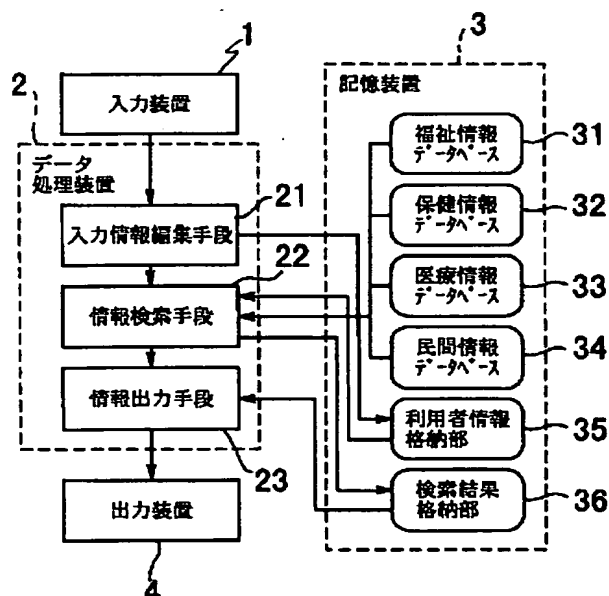
(74) 代理人 弁理士 原田 信市

(54) 【発明の名称】 障害者向け福祉サービス検索システム、及びそのためのデータベースとプログラムを格納した記憶媒体

(57) 【要約】

【課題】 従来、複数の窓口、あるいは団体、病院等に個々に問い合わせなければならなかった情報を、一元的に検索できるようにして、障害者、およびその家族等が利用することのできるサービス／制度の全容を容易に把握できるようにする。

【解決手段】 入力装置1から入力されて利用者情報格納部35に格納された利用者情報に適應するサービス／制度の情報を、福祉情報データベース31、保健情報データベース32、医療情報データベース33、民間情報データベース34から情報検索手段32にて検索し、検索されたサービス／制度の情報の内容を情報出力手段23により項目分けして出力する。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】福祉分野として分類されるサービス／制度の情報をあらかじめ格納した福祉情報データベースと、保健分野として分類されるサービス／制度の情報をあらかじめ格納した保健情報データベースと、医療行為として分類されるサービス／制度の情報をあらかじめ格納した医療情報データベースと、民間団体が提供するサービス／制度の情報をあらかじめ格納した民間情報データベースと、利用者の情報を入力する入力装置と、入力された利用者情報を記憶する利用者情報格納部と、この利用者情報格納部に格納された利用者情報に適応するサービス／制度の情報を、前記福祉情報データベース、保健情報データベース、医療情報データベース、民間情報データベースから検索する情報検索手段と、この情報検索手段で検索されたサービス／制度の情報の内容を項目分けして出力する情報出力手段とを備えてなることを特徴とする、障害者向け福祉サービス検索システム。

【請求項 2】福祉情報データベース、保健情報データベース、医療情報データベース、民間情報データベースの各データベースのレコードは、本検索システム内で一意となる番号を格納した番号格納項目と、サービス／制度の名称を格納する名称格納項目と、サービス／制度を利用可能な障害等級を格納する障害等級格納項目と、サービス／制度を利用可能な年齢を格納する年齢格納項目と、サービス／制度の実施地域を格納する実施地域格納項目と、サービス／制度の実施日時を格納する実施日時格納項目と、日常生活補助、手当等のサービス／制度のカテゴリを格納するカテゴリ格納項目と、サービス／制度の利用に必要な費用を格納する費用格納項目と、サービス／制度を利用する際の問い合わせ先を格納する問い合わせ先格納項目と、サービス／制度の概要を格納する概要格納項目とから構成され、情報出力手段はこれらの項目に分けて出力することを特徴とする請求項 1 記載の、障害者向け福祉サービス検索システム。

【請求項 3】利用者情報格納部のレコードは、利用者の障害等級を格納する障害等級格納項目と、利用者の年齢を格納する年齢格納項目と、利用者の居住地域を格納する居住地域格納項目と、利用者の世帯の主たる生計者の所得税額を格納する所得税額格納項目と、情報入力時の日時を格納する現在日時格納項目とから構成されていることを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の、障害者向け福祉サービス検索システム。

【請求項 4】入力装置から入力された予約者情報、予約日時、予約申し込み団体及び申し込みサービスを通信用線を介して送信するサービス申込み手段と、予約者情報及び予約日時を格納する予約者情報データベースと、実施団体が異なるサービスの予約状況を格納するサービス予約状況データベースと、前記サービス申込み手段から送信されてきた予約者情報及び予約日時から前記予約者情報データベースを検索して、予約が重複する場合はそ

の旨を前記サービス申込み手段へ返信し、重複しない場合は当該予約者情報及び予約日時を格納する予約者情報検索手段と、この予約者情報検索手段の検索結果が重複無しの場合、前記サービス申込み手段から送信されてきた予約申し込み団体及び申し込み項目から前記サービス予約状況データベースを検索し、当該実施団体の当該サービスについて予約が可能な場合には、その旨を前記サービス申込み手段へ返信するとともに、予約の追加を格納するサービス／検索予約手段とを更に備えたことを特徴とする請求項 1、2 又は 3 記載の、障害者向け福祉サービス検索システム。

【請求項 5】予約者情報データベースの予約者情報レコードは、予約者の障害者番号を格納した障害者番号格納項目と、予約者の氏名を格納する氏名格納項目と、予約者の連絡先を格納する連絡先格納項目と、予約者のサービス予約状況を格納した予約状況格納項目とから構成されていることを特徴とする請求項 4 記載の、障害者向け福祉サービス検索システム。

【請求項 6】サービス予約状況データベースのサービス予約状況レコードは、サービスの番号を格納するサービス番号格納項目と、サービスの実施日時を格納するサービス実施日時格納項目と、サービスの予約状況を格納するサービス予約状況格納項目と、サービスの実施団体を格納するサービス実施団体格納項目と、サービスの申込者の情報を格納する申込者情報格納項目とから構成されていることを特徴とする請求項 4 又は 5 記載の、障害者向け福祉サービス検索システム。

【請求項 7】福祉分野として分類されるサービス／制度の情報をあらかじめ格納した福祉情報データベースと、保健分野として分類されるサービス／制度の情報をあらかじめ格納した保健情報データベースと、医療行為として分類されるサービス／制度の情報をあらかじめ格納した医療情報データベースと、民間団体が提供するサービス／制度の情報をあらかじめ格納した民間情報データベースと、入力装置から入力される利用者情報を利用者情報格納部に格納させるプログラムと、前記利用者情報格納部に格納された利用者情報に適応するサービス／制度の情報を、前記福祉情報データベース、保健情報データベース、医療情報データベース、民間情報データベースから検索するプログラムと、その検索されたサービス／制度の情報の内容を項目分けして出力させるプログラムとを記憶したことを特徴とする、障害者向け福祉サービス検索のためのデータベースとプログラムを格納した記憶媒体。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【発明の属する技術分野】本発明は、コンピュータを利用した障害者向け福祉サービス検索システム、及びそのためのデータベースとプログラムを格納した記憶媒体に関する。

【0002】

【従来の技術】自身、あるいは家族等の近親者が事故や病気等により障害者となった場合、多くの人はそうした場合に受けられるサービス／制度についての情報を必要とする。また、現在は健康であっても、万が一の時に備えて、情報を知っておきたい場合もある。現在、障害者に対する各種サービスや公的制度は数多く制定されているが、それらのサービス／制度についての情報を得るためには、主として社会福祉協議会等の窓口にて質問する方法が採られている。

【0003】しかし、障害者に対するサービス／制度は多種多様なものが存在し、社会福祉法で定められるサービス／制度と、健康保健法によって定められるサービス／制度はそれぞれ問い合わせ窓口も異なるため、複数の窓口を回って情報を得る必要がある。さらに、国や市区町村等の自治体が行っているサービスだけでなく、病院が行っている医療サービス、民間団体が提供するサービスなども存在する。また、障害者向けのサービス／制度は、障害の等級や年齢などによって内容が異なり、地域によっても実施されているサービス／制度が異なっている。障害者、およびその介護者にとっては、利用することのできるサービス／制度という観点において、各サービス／制度は同一のものであるにも拘わらず、法律等の要因によって、それぞれのサービス／制度の実施団体、申し込み窓口が異なるため、障害者、およびその介護者等が利用できるサービス／制度を把握することは非常に困難であった。また、サービス／制度の実施団体が異なることにより、複数のサービスが同じ日に実施されてしまうという問題もあった。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】本発明の課題は、従来、複数の窓口、あるいは団体、病院等に個々に問い合わせなければならなかった情報を、一元的に検索することにより、障害者、およびその家族等が利用することのできるサービス／制度の全容を容易に把握できる、障害者向け福祉サービス検索システム、及びそのためのデータベースとプログラムを格納した記憶媒体を提供することにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】本発明は、社会福祉法を根幹とする公的な障害者向けサービス／制度、健康保健法を根幹とする公的な障害者向けサービス／制度、病院が行っているサービス／制度、また民間団体が提供している障害者向けサービス等、実施母体の異なるサービス／制度の情報を網羅したデータベースと、それらのサービス／制度を受けたい利用者の、障害等級や年齢等の情報を元に、サービス／制度の情報を検索することにより、サービス／制度の実施母体の違いを意識することなく、障害者、およびその介護者等が利用できる各種のサービス／制度に関する適切な情報を容易に収集すること

のできるシステムである。さらに、通信回線を利用して、家庭からのサービス利用の申込み機能を提供することにより、各種のサービス／制度の利用に関する適切な情報が自宅で容易に入手できるシステムである。

【0006】すなわち、本発明のシステムは、福祉分野として分類されるサービス／制度の情報をあらかじめ格納した福祉情報データベースと、保健分野として分類されるサービス／制度の情報をあらかじめ格納した保健情報データベースと、医療行為として分類されるサービス／制度の情報をあらかじめ格納した医療情報データベースと、民間団体が提供するサービス／制度の情報をあらかじめ格納した民間情報データベースと、利用者の情報を入力する入力装置と、入力された利用者情報を記憶する利用者情報格納部と、この利用者情報格納部に格納された利用者情報に適應するサービス／制度の情報を、福祉情報データベース、保健情報データベース、医療情報データベース、民間情報データベースから検索する情報検索手段と、この情報検索手段で検索されたサービス／制度の情報の内容を項目分けして出力する情報出力手段とを備えてなる。

【0007】上記において、福祉情報データベース、保健情報データベース、医療情報データベース、民間情報データベースの各データベースのレコードは、例えば、本検索システム内で一意となる番号を格納した番号格納項目と、サービス／制度の名称を格納する名称格納項目と、サービス／制度を利用可能な障害等級を格納する障害等級格納項目と、サービス／制度を利用可能な年齢を格納する年齢格納項目と、サービス／制度の実施地域を格納する実施地域格納項目と、サービス／制度の実施日時を格納する実施日時格納項目と、日常生活補助、手当等のサービス／制度のカテゴリを格納するカテゴリ格納項目と、サービス／制度の利用に必要な費用を格納する費用格納項目と、サービス／制度を利用する際の問い合わせ先を格納する問い合わせ先格納項目と、サービス／制度の概要を格納する概要格納項目とから構成され、情報出力手段はこれらの項目に分けて出力する。

【0008】また、利用者情報格納部のレコードは、例えば、利用者の障害等級を格納する障害等級格納項目と、利用者の年齢を格納する年齢格納項目と、利用者の居住地域を格納する居住地域格納項目と、利用者の世帯の主たる生計者の所得税額を格納する所得税額格納項目と、情報入力時の日時を格納する現在日時格納項目とから構成されている。

【0009】予約サービスも行うようにするには、上記に加え、入力装置から入力された予約者情報、予約日時、予約申し込み団体及び申し込みサービスを通信回線を介して送信するサービス申込み手段と、予約者情報及び予約日時を格納する予約者情報データベースと、実施団体が異なるサービスの予約状況を格納するサービス予約状況データベースと、サービス申込み手段から送信さ

れてきた予約者情報及び予約日時から予約者情報データベースを検索して、予約が重複する場合はその旨をサービス申込み手段へ返信し、重複しない場合は当該予約者情報及び予約日時を格納する予約者情報検索手段と、この予約者情報検索手段の検索結果が重複無しの場合、サービス申込み手段から送信されてきた予約申し込み団体及び申し込み項目からサービス予約状況データベースを検索し、当該実施団体の当該サービスについて予約が可能な場合には、その旨をサービス申込み手段へ返信するとともに、予約の追加を格納するサービス／検索予約手段とを更に備える。

【0010】予約者情報データベースの予約者情報レコードは、例えば、予約者の障害者番号を格納した障害者番号格納項目と、予約者の氏名を格納する氏名格納項目と、予約者の連絡先を格納する連絡先格納項目と、予約者のサービス予約状況を格納した予約状況格納項目とから構成されている。

【0011】サービス予約状況データベースのサービス予約状況レコードは、例えば、サービスの番号を格納するサービス番号格納項目と、サービスの実施日時を格納するサービス実施日時格納項目と、サービスの予約状況を格納するサービス予約状況格納項目と、サービスの実施団体を格納するサービス実施団体格納項目と、サービスの申込者の情報を格納する申込者情報格納項目とから構成されている。

【0012】また、本発明による記憶媒体は、福祉分野として分類されるサービス／制度の情報をあらかじめ格納した福祉情報データベースと、保健分野として分類されるサービス／制度の情報をあらかじめ格納した保健情報データベースと、医療行為として分類されるサービス／制度の情報をあらかじめ格納した医療情報データベースと、民間団体が提供するサービス／制度の情報をあらかじめ格納した民間情報データベースと、入力装置から入力される利用者情報を利用者情報格納部に格納させるプログラムと、利用者情報格納部に格納された利用者情報に適應するサービス／制度の情報を、福祉情報データベース、保健情報データベース、医療情報データベース、民間情報データベースから検索するプログラムと、その検索されたサービス／制度の情報の内容を項目分けして出力させるプログラムとを記憶したものである。

【0013】

【発明の実施の形態】次に、本発明の実施の形態を図面に基いて詳細に説明する。

【0014】〔第1の実施例〕図1を参照すると、第1の実施例は、キーボード等の入力装置1と、プログラム制御により動作するデータ処理装置2と、情報を記憶する記憶装置3と、ディスプレイ装置や印刷装置等の出力装置4とを含む。

【0015】記憶装置3は、福祉分野として分類されるサービス／制度の情報をあらかじめ格納した福祉情報デ

ータベース31と、保健分野として分類されるサービス／制度の情報をあらかじめ格納した保健情報データベース32と、医療行為として分類されるサービス／制度の情報をあらかじめ格納した医療情報データベース33と、民間団体が提供するサービス／制度の情報をあらかじめ格納した民間情報データベース34と、本検索システム利用者の情報を記憶する利用者情報格納部35と、各データベースから検索された情報を記憶する検索結果格納部36とから構成される。

【0016】各データベース31～34は、各分野が提供するサービス／制度の情報を記憶したサービス／制度情報格納レコード5（図2を参照）により構成される。サービス／制度情報格納レコード5は、本検索システム内で一意となる番号を格納した番号格納項目5Aと、サービス／制度の名称を格納する名称格納項目5Bと、サービス／制度を利用可能な障害等級を格納する障害等級格納項目5Cと、サービス／制度を利用可能な年齢を格納する年齢格納項目5Dと、サービス／制度の実施地域を格納する実施地域格納項目5Eと、サービス／制度の実施日時を格納する実施日時格納項目5Fと、日常生活補助、手当等のサービス／制度のカテゴリを格納するカテゴリ格納項目5Gと、サービス／制度の利用に必要な費用を格納する費用格納項目5Hと、サービス／制度を利用する際の問い合わせ先を格納する問い合わせ先格納項目5Iと、サービス／制度の概要を格納する概要格納項目5Jとから構成される。

【0017】利用者情報を記憶する利用者情報格納部35は、本検索システムの利用者の情報を格納する利用者情報記憶レコード6（図3を参照）により構成される。利用者情報記憶レコード6は、利用者の障害等級を格納する障害等級格納項目6Aと、利用者の年齢を格納する年齢格納項目6Bと、利用者の居住地域を格納する居住地域格納項目6Cと、利用者の世帯の主たる生計者の所得税額を格納する所得税額格納項目6Dと、情報入力時の日時を格納する現在日時格納項目6Eとから構成される。検索結果格納部36には、情報検索手段22によって検索された情報が出力される。

【0018】データ処理装置2は、入力情報編集手段21と、情報検索手段22と、情報出力手段23を備える。

【0019】入力情報編集手段21は、入力装置1から入力された利用者の情報を編集し、利用者情報記憶レコード6を作成して、利用者情報記憶部35に出力する。

【0020】情報検索手段22は、利用者情報記憶レコード6に格納された条件を元に、各データベース31～34を検索し、検索システム利用者が利用可能なサービス／制度を格納したサービス／制度情報格納レコード5を、検索結果格納部36に出力する。

【0021】情報出力手段23は、検索結果格納部36に格納されたサービス／制度情報格納レコード5の内容

を編集し、出力装置 4 に出力する。

【0022】【第 1 実施例の動作の説明】次に、図 4、5、6、7 を参照して第 1 実施例の動作について詳細に説明する。入力装置 1 によって入力された利用者情報は、入力情報編集手段 2 1 に供給される。利用者情報としては、利用者の年齢、障害等級、居住地域、利用者の世帯の主たる生計者の所得税額が入力される。入力情報編集手段 2 1 は、入力された各情報を編集して利用者情報記憶レコード 6 を作成し、利用者情報格納部 3 5 に出力する（図 4 のステップ A 1、A 2、A 3 を参照）。

【0023】情報検索手段 2 2 は、福祉情報データベース 3 1 と、保健情報データベース 3 2 と、医療情報データベース 3 3 と、民間情報データベース 3 4 を順次検索する（図 4 のステップ A 4、A 5 を参照）。各データベース 3 1 ~ 3 4 の検索は次の手順で行う。

【0024】データベース中のサービス／制度情報レコード 5 を取得し、利用者情報レコード 6 中の項目と比較する。まず、障害等級格納項目 6 A と、障害等級格納項目 5 C を比較し（図 5 のステップ B 1 を参照）、利用者の障害等級がサービス／制度の対象となる障害等級に含まれる場合は、以降の項目のチェックを行う。利用者の障害等級がサービス／制度の対象となる障害等級に含まれない場合は、次以降のレコードの検索を行う（図 5 のステップ A 9 を参照）。年齢格納項目 6 B と、年齢格納項目 5 D を比較し（図 5 のステップ B 2 を参照）、利用者の年齢がサービス／制度の対象の年齢に含まれる場合は、以降の項目のチェックを行う。利用者の年齢がサービス／制度の対象となる年齢に含まれない場合は、次以降のレコードの検索を行う。次に居住地域格納項目 6 C と、実施地域格納項目 5 E を比較し（図 5 のステップ B 3 を参照）、当該サービスが利用者の居住している地域で実施されている場合は、以降の項目のチェックを行う。当該サービスが利用者の居住している地域で実施されていない場合は、次以降のレコードの検索を行う。次に現在日時項目 6 E と、実施日時格納項目 5 F を比較し（図 5 のステップ B 4 を参照）、検索サービス利用時点で当該サービス／制度が実施されている場合は、当該サービス／制度情報レコード 5 に格納されているサービス／制度は、検索システム利用者が利用可能なサービス／制度であるため、当該レコードを検索情報格納部 3 6 に出力する（図 4 のステップ A 6 を参照）。検索サービス利用時点で当該サービスが実施されていない場合は、次レコード以降の検索を行う。データベース中に処理していないレコードが存在する場合は、引き続いて当該データベース内のレコードに対して処理を行い（図 4 のステップ A 7 を参照）、データベース中の全レコードの検索が終了した場合は、次データベースに対して同様の検索処理を行う（図 4 のステップ A 9 を参照）。

【0025】情報出力手段 2 3 は、検索情報格納部 3 6 に格納されたサービス／制度情報レコード 5 を取得し

（図 6 のステップ C 1 を参照）、レコード中の番号格納項目 5 A と、名称格納項目 5 B と、実施日時格納項目 5 F と、カテゴリ格納項目 5 G と、費用格納項目 5 H と、問い合わせ先格納項目 5 I と、概要格納項目 5 J の各項目の内容を、出力装置 4 に出力する（図 6 のステップ C 2、C 5、C 6 を参照）。費用格納項目 5 H については、利用者の世帯の主たる生計者の所得税によって、費用が異なる場合は、所得税格納項目 6 D の値を参照し、利用者に適用される費用を出力する（図 6 のステップ C 3、C 4 を参照）。図 7 は出力装置への出力の 1 例である。

【0026】【第 2 の実施例】次に、本発明の第 2 の実施例について説明する。図 8 を参照すると、第 2 の実施例は、第 1 の実施例の構成に加えて、サービス申込み手段 2 4 と、モデム等の通信装置 5 と、通信回線によって接続されるデータ処理装置 1 1 と、データ処理装置 1 1 に接続される記憶装置 1 2 と、通信装置 1 0 と、通信回線によって接続される端末 2 0 1、2 0 2、2 0 3 から構成される。本実施例では端末の数は 3 台となっているが、端末数は 3 台に限定するものではなく、サービスの実施団体全てが設置することが望ましい。

【0027】データ処理装置 1 1 は、予約者情報検索手段 1 1 1 と、サービス検索／予約手段 1 1 2 から構成される。

【0028】記憶装置 1 2 は、予約者情報データベース 1 2 1 と、サービス予約状況データベース 1 2 2 から構成される。予約者情報データベース 1 2 1 と、サービス予約状況データベース 1 2 2 には、実施団体の異なるサービスの情報が、一元的に登録されている。予約者情報データベース 1 2 1 は、予約者情報レコード 2 1（図 9 を参照）から構成される。予約者情報レコード 2 1 は、予約者の障害者番号を格納した障害者番号格納項目 2 1 A と、予約者の氏名を格納する氏名格納項目 2 1 B と、予約者の連絡先を格納する連絡先格納項目 2 1 C と、予約者のサービス予約状況を格納した予約状況格納項目 2 1 D とから構成される。

【0029】サービス予約状況データベースは、サービス予約状況レコード 2 2 から構成される（図 10 を参照）。サービス予約状況レコード 2 2 は、サービスの番号を格納するサービス番号格納項目 2 2 A と、サービスの実施日時を格納するサービス実施日時格納項目 2 2 B と、サービスの予約状況を格納するサービス予約状況格納項目 2 2 C と、サービスの実施団体を格納するサービス実施団体格納項目 2 2 D と、サービスの申込者の情報を格納する申込者情報格納項目 2 2 E とから構成される。

【0030】端末は、サービスの実施団体に設置され、当該団体の実施するサービスが予約された場合、サービス／検索予約手段 1 1 2 により、予約されたサービスと、予約者の情報が送信される。

【0031】入力装置1によって入力された利用者情報は、入力情報編集手段21により編集され、利用者情報記憶レコード6に格納される。

【0032】情報検索手段22は、利用者情報記憶レコード6に格納された情報を元に、福祉情報データベース31と、保健情報データベース32と、医療情報データベース33と、民間情報データベース34を順次検索し、利用可能なサービス／制度を格納したサービス／制度情報格納レコード5を、検索情報格納部36に出力する。

【0033】情報出力手段23は、検索情報格納部36に格納されたサービス／制度情報レコード5を取得し、レコード中の情報を編集し、出力装置4に出力する。

【0034】利用者は、出力装置4に出力された情報から、利用したいサービスを選択し、利用したいサービスの番号と、利用者の障害者番号と、氏名と、連絡先と、利用したい日時を入力装置1から入力する。サービス申込み手段24は、入力装置1から入力された情報を、通信装置5を介してデータ処理装置11に送信する。

【0035】予約者情報検索手段111は、通信装置10より利用者の情報を取得し（図11のステップD1参照）、入力された利用者の障害者番号を元に、予約者情報データベース121を検索する（図10のステップD2を参照）。入力された障害者番号に対応する予約者情報レコード21が存在しない場合は、予約者情報レコード21を新規に作成する（図11のステップD4を参照）。利用者に対応する予約者情報レコード21が存在する場合は（図11のステップD3を参照）、予約状況格納項目21Dを参照し、通信装置10から入力されたサービスを利用したい日時の情報と比較を行い、サービス実施時間に重複がないかチェックする（図11のステップD5を参照）。申し込まれたサービスの実施時間が、既に予約をした他のサービスの実施時間と重複しない場合は、サービス検索／予約手段112の処理を行う。申し込まれたサービスが、既に予約をした他のサービスの実施時間と重複する場合は、通信装置10を介して、サービス申込み手段24に、申し込まれたサービスは、他のサービスの実施時間と重複している為に、利用できない旨を通知する（図11のステップD13を参照）。

【0036】サービス検索／予約手段112は、通信装置10より入力された、利用したいサービスの番号と、サービスを利用したい日時を元に、サービス予約状況データベース122より、サービス予約状況レコード22を取得する（図11のステップD6を参照）。サービス予約状況レコード22取得後、サービス予約状況格納項目22Cを参照し、当該サービスが予約可能であるか否か判定する（図11のステップD7を参照）。当該サービスが予約可能な場合、サービス予約状況格納項目22Cに予約者が1名増加したことを格納し、申込者情報格

納項目22Eに、予約者の障害番号を格納し（図11のステップD8を参照）、情報更新後のサービス予約状況レコード22を、サービス予約状況データベース122に格納する（図11のステップD9を参照）。

【0037】続いて、予約者情報レコード21中の予約状況格納項目21Dに、予約をしたサービスの番号と、予約日時を格納し（図11のステップD10を参照）、予約者情報データベース121に出力し（図11のステップD11を参照）、サービス実施団体格納項目22Dに格納された実施団体に対応する端末に、申し込まれたサービスと、サービスを申し込んだ利用者の情報を送信し（図11のステップD12を参照）、サービス申込み手段24に、申し込まれたサービスの予約を受理した旨を通知する（図11のステップD13を参照）。当該サービスが予約可能でなかった場合、サービス申込み手段24に、申し込まれたサービスが予約できなかった旨を通知する（図11のステップD14を参照）。

【0038】[第3の実施例] 次に、本発明の第3の実施例について説明する。図12を参照すると、第3の実施例は、第2の実施例の構成に加えて、福祉分野のサービス／制度の情報をあらかじめ格納した福祉情報データベース71と、保健分野のサービス／制度の情報をあらかじめ格納した保健情報データベース72と、医療分野のサービス／制度の情報をあらかじめ格納した医療情報データベース73と、民間団体の提供するサービスをあらかじめ格納した民間情報データベース74と、入力装置1から入力された情報を元に、各データベースを検索し、その結果を出力装置4に出力し、出力結果を元にサービスの予約申込みを行うサービス／制度検索および申込みプログラム75（以下検索プログラム75と呼称する）を記憶した記憶媒体7を備える。この記憶媒体7は、CD-ROM、磁気ディスク、その他の記憶媒体であってよい。

【0039】検索プログラム75は、記憶媒体7からデータ処理装置8に読み込まれ、データ処理装置8の動作を制御する。データ処理装置8は、検索プログラムの制御により以下の処理、すなわち第2の実施形態におけるデータ処理装置2と同一の処理を実行する。

【0040】入力装置1によって利用者情報が入力されると、検索プログラム75は、入力された利用者情報を編集して、利用者情報記憶レコード6を作成し、利用者情報格納部91部に出力する。

【0041】次に、検索プログラム75は、利用者情報記憶レコード6に格納された情報を元に、福祉情報データベース71と、保健情報データベース72と、医療情報データベース73と、民間情報データベース74を順次検索し、利用可能なサービス／制度を格納したサービス／制度情報格納レコード5を、検索情報格納部92に出力する。

【0042】次に、検索プログラムは、検索情報格納部

96に格納されたサービス／制度情報レコード5を取得し、レコード中の情報を編集し、出力装置4に出力する。利用者は、出力装置4に出力された情報から、利用したいサービスを選択し、利用したいサービスの番号と、利用者の障害者番号と、氏名と、連絡先と、利用したい日時を入力装置1から入力する。検索プログラム75は、入力装置1から入力された情報を、通信装置5を介して、データ処理装置11に送信する。

【0043】予約者情報検索手段111は、通信装置10より利用者の情報を取得し、入力された利用者の障害者番号を元に、予約者情報データベース121を検索する。入力された障害者番号に対応する予約者情報レコード21が存在しない場合は、予約者情報レコード21を新規に作成する。利用者に対応する予約者情報レコード21が存在する場合は、予約状況格納項目21Dを参照し、通信装置10から入力されたサービスを利用したい日時と比較を行い、サービス実施時間に重複がないかチェックする。申し込まれたサービスの実施時間が、既に予約をした他のサービスの実施時間と重複しない場合は、サービス検索／予約手段112の処理を行う。申し込まれたサービスが、既に予約をした他のサービスの実施時間と重複する場合は、通信装置10を介して、検索プログラム75に、申し込まれたサービスは、他のサービスの実施時間と重複している為に、利用できない旨を通知する。

【0044】サービス検索／予約手段112は、通信装置10より入力された、利用したいサービスの番号と、サービスを利用したい日時を元に、サービス予約状況データベース122より、サービス予約状況レコード22を取得する。サービス予約状況レコード22を取得後、サービス予約状況格納項目22Cを参照し、当該サービスが予約可能であるか否かを判定する。当該サービスが予約可能な場合、サービス予約状況格納項目22Cに予約者が1名増加したことを格納し、申込者情報格納項目22Eに、予約者の障害者番号を格納し、情報更新後のサービス予約状況レコード22を、サービス予約状況データベース122に格納する。

【0045】続いて、予約者情報レコード21中の予約状況格納項目21Dに、予約をしたサービスの番号と、予約日時を格納し、予約者情報データベース121に出力し、サービス実施団体格納項目22Dに格納された実施団体に対応する端末に、申し込まれたサービスと、サービスを申し込んだ利用者の情報を送信し、検索プログラム75に、申し込まれたサービスの予約を受理した旨を通知する。当該サービスが予約可能でなかった場合、検索プログラム75に、申し込まれたサービスが予約できなかった旨を通知する。

【0046】

【発明の効果】本発明の第1の効果は、従来、複数の窓口、あるいは団体、病院等に問い合わせなければならな

かった情報を、一元的に検索できることにより、障害者、およびその家族等が授受することのできるサービス／制度の全容を容易に把握できることである。第2の効果は、各分野の障害者向けサービス／制度を納めたデータベースと、データベースの検索システムが、可搬性のある記憶媒体に一括して記憶されることにより、家庭でもサービス／制度の情報の収集、申込みを行うことが可能となることである。第3の効果は、実施団体の異なるサービスを一元的に予約管理することにより、サービスの実施日時が重複することが無くなることである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1実施例のシステム構成を示すブロック図である。

【図2】図1に示した各データベースのレコード構成を示す図である。

【図3】図1に示した利用者情報格納部のレコード構成を示す図である。

【図4】福祉情報データベースと保健情報データベースと医療情報データベースと民間情報データベースとを順次検索するステップを示すフローチャートである。

【図5】各データベースの項目を検索するステップを示すフローチャートである。

【図6】検索した項目を出力するステップを示すフローチャートである。

【図7】出力例を示す図である。

【図8】本発明の第2実施例のシステム構成を示すブロック図である。

【図9】図8に示した予約者情報データベースのレコード構成を示す図である。

【図10】図8に示したサービス予約状況データベースのレコード構成を示す図である。

【図11】第2実施例の予約動作を説明するフローチャートである。

【図12】本発明の第3実施例のシステム構成を示すブロック図である。

【符号の説明】

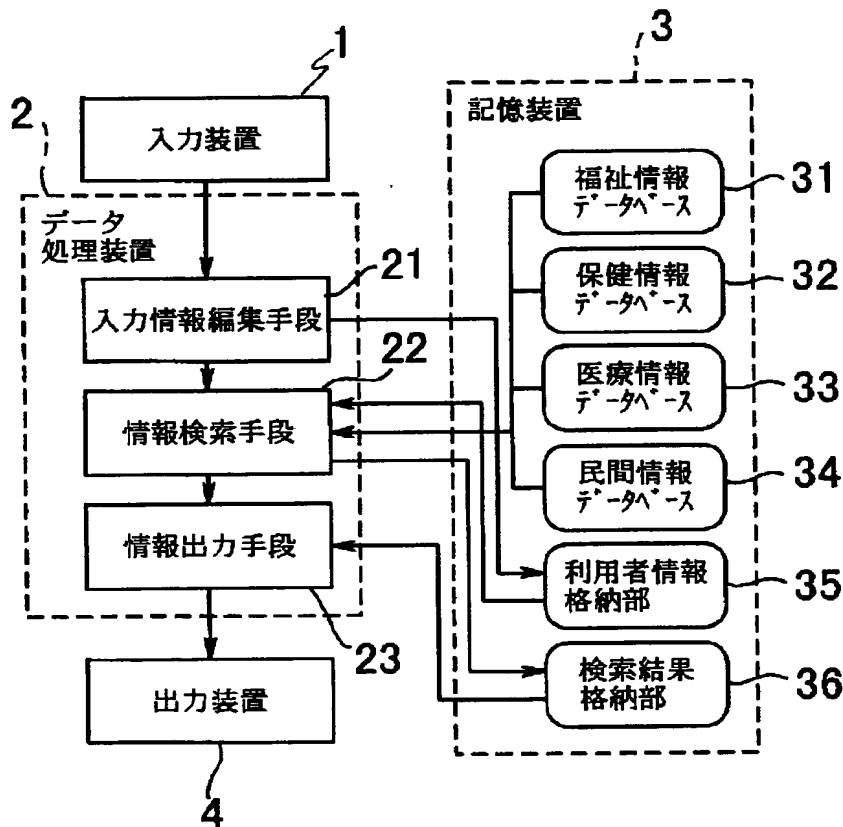
- 1 入力装置
- 2 データ処理装置
- 3 記憶装置
- 4 出力装置
- 21 入力情報編集手段
- 22 情報検索手段
- 23 情報出力手段
- 31 福祉情報データベース
- 32 保健情報データベース
- 33 医療情報データベース
- 34 民間情報データベース
- 35 利用者情報格納部
- 36 検索結果格納部
- 5 サービス／制度情報格納レコード

5 A 番号格納項目
 5 B 名称格納項目
 5 C 障害等級格納項目
 5 D 年齢格納項目
 5 E 実施地域格納項目
 5 F 実施日時格納項目
 5 G カテゴリ格納項目
 5 H 費用格納項目
 5 J 概要格納項目
 6 利用者情報記憶レコード
 6 A 障害等級格納項目
 6 B 年齢格納項目
 6 C 居住地域格納項目
 6 D 所得税額格納項目
 6 E 現在日時格納項目
 2 4 サービス申込み手段
 5 通信装置 5
 10 通信装置
 11 データ処理装置
 12 記憶装置
 111 予約者情報検索手段

112 サービス検索／予約手段
 121 予約者情報データベース
 122 サービス予約状況データベース
 201、202、203 端末
 21 予約者情報レコード
 21A 障害者番号格納項目
 21B 氏名格納項目
 21C 連絡先格納項目
 21D 予約状況格納項目
 22 サービス予約状況レコード
 22A サービス番号格納項目
 22B サービス実施日時格納項目
 22C サービス予約状況格納項目
 22D サービス実施団体格納項目
 22E 申込者情報格納項目
 7 記憶媒体
 71 福祉情報データベース
 72 保健情報データベース
 73 医療情報データベース
 74 民間情報データベース
 75 サービス／制度検索および申込みプログラム

【図 1】

【図 3】



利用者情報格納レコード 6

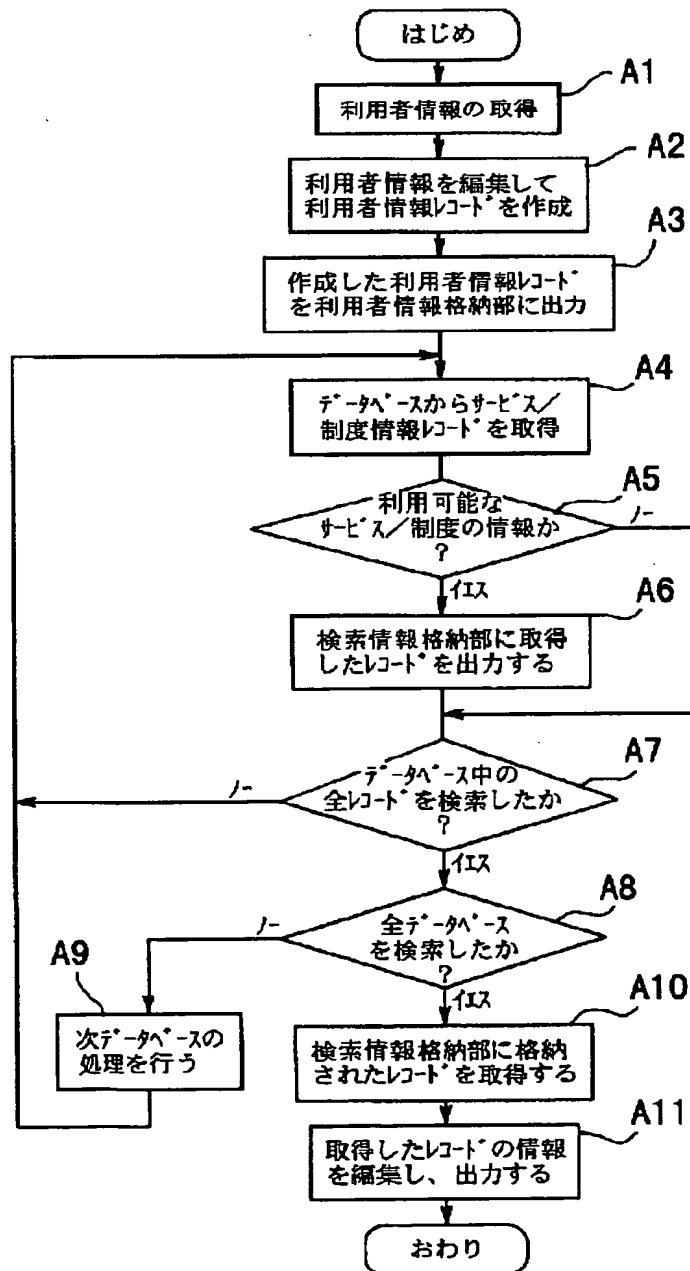
障害等級 格納項目	年齢 格納項目	居住地域 格納項目	所得税額 格納項目	現在日時 格納項目
6A	6B	6C	6D	6E

【図 2】

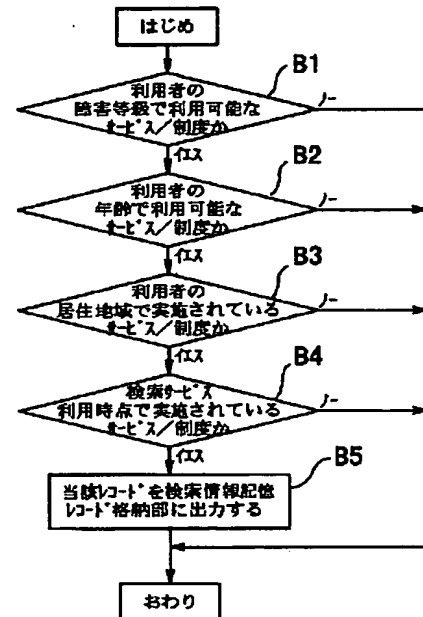
サービス/制度情報格納レコード 5

番号 格納項目	名称 格納項目	障害等級 格納項目	年齢 格納項目	実施地域 格納項目	実施日時 格納項目	カテゴリ 格納項目	費用 格納項目	問合せ先 格納項目	概要 格納項目
5A	5B	5C	5D	5E	5F	5G	5H	5I	5J

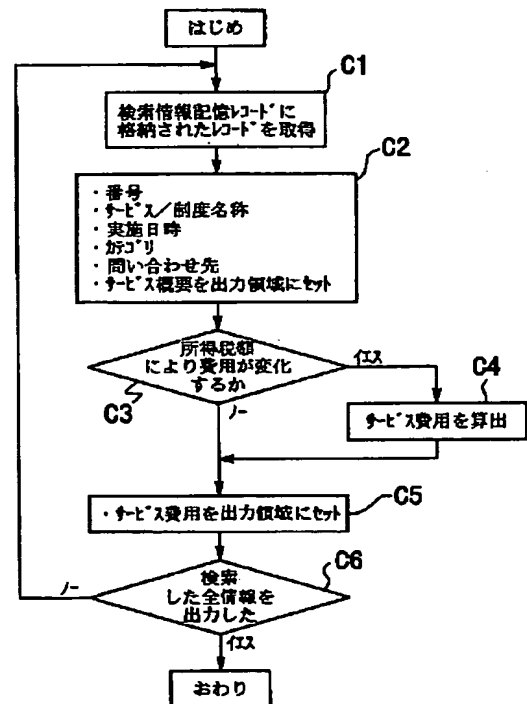
【図 4】



【図 5】



【図 6】



【図 7】

サービス/制度一覧						
番号	サービス名	実施日時	行方	費用	問い合わせ先	サービス概要
S12	ショートステイ	月～金	短期入所	食費	tel:xxx-xx23	自治体管轄の宿泊施設にて短期間の宿泊が可能
R11	利用リハビリセンター	随時入所	入所	所定定額	tel:oo-oo789	利用リハビリセンターに入所し、障害の内容に対応した利用リハビリを行う
F01	入浴車	月～金	在宅介護	無料	tel:12-3456xx	自宅での入浴が困難な方向けの入浴サービス
B89	ホームヘルプ	月～金	在宅介護	2000円	tel:9786-oox	自宅の清掃等日常生活の補助
	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

【図 9】

予約者情報シート 21

障害者番号 格納項目	氏名 格納項目	連絡先 格納項目	予約状況 格納項目
21A	21B	21C	21D

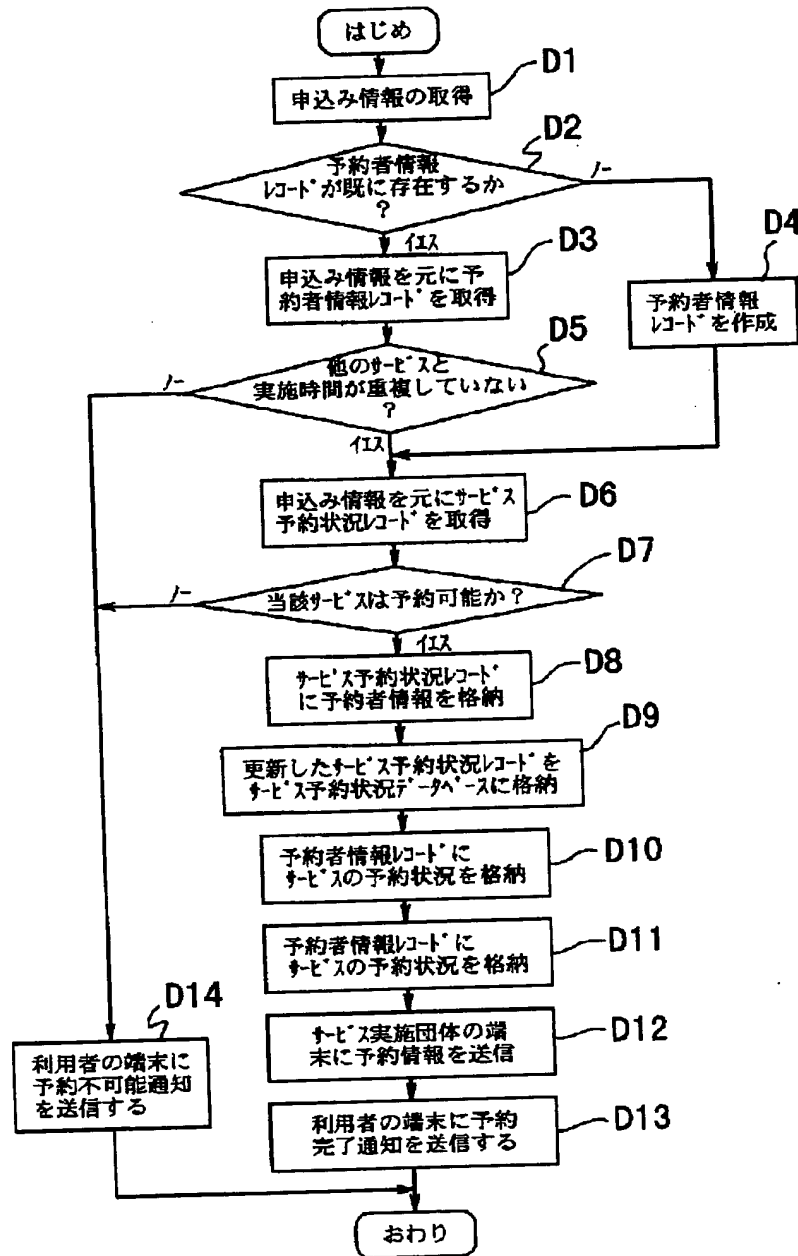
【図 10】

サービス予約状況シート 22

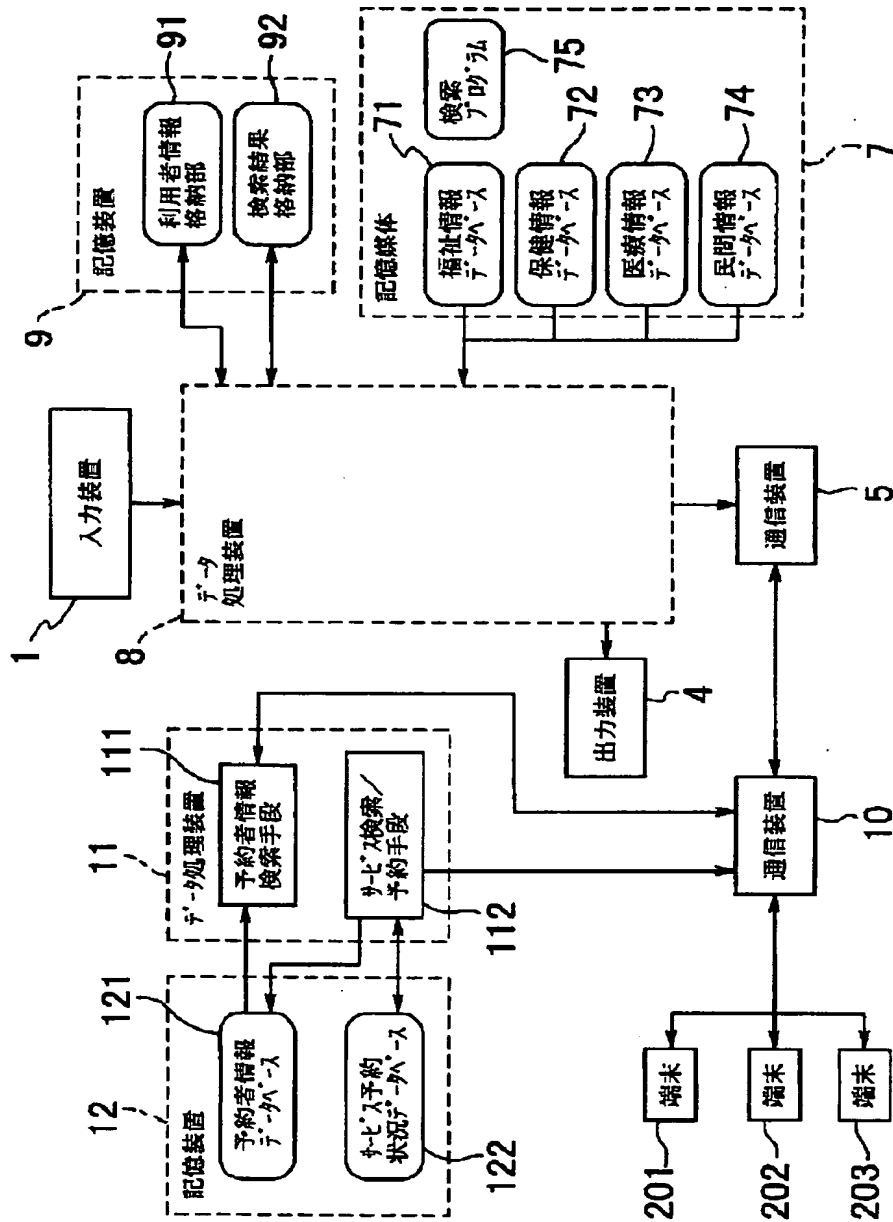
サービス番号 格納項目	サービス実施日時 格納項目	サービス予約状況 格納項目	サービス実施団体 格納項目	申込者情報 格納項目
22A	22B	22C	22D	22E

[illegible]

【図 11】



【図 12】



THIS PAGE BLANK (USPTO)

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☒ FADED TEXT OR DRAWING
- ☒ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.

THIS PAGE BLANK (USPTO)